

おばま 市議会だより

No. 150



北陸新幹線小浜・京都ルート決定.... P2
12月定例会の概要..... P3
議会報告会を開催しました..... P6
市政を問う！一般質問..... P8

決定

北陸新幹線 小浜・京都ルート

～昭和48年からの悲願～



【市役所で祝賀イベント(12月20日)】

敦賀以西の検討委員会が中間報告をする平成28年12月14日に向けて、同年11月24日、25

要望活動

きめ細やかな

平成28年12月20日、与党整備新幹線建設推進プロジェクトチーム(以下PT)は、北陸新幹線敦賀以西のルートについて、福井県や小浜市が要望する「小浜・京都ルート」を正式に決定しました。ルート問題は、小浜市議会でも最重要課題として平成25年度から特別委員会を設置し、調査、研究とともに要望活動を実施してきました。



【西田委員長(右)との面談】

日に、議長、北陸新幹線小浜・京都ルート早期実現特別委員会委員だけでなく、副市長や小浜商工会議所会頭など総勢15名による中央要望活動を実施しました。敦賀以西検討委員会の西田昌司委員長をはじめ、関係する国会議員と面談し、小浜・京都ルートの必要性を再度訴えてきました。また、同年12月13日には、議長が知事や市長らとともに、PTを中心とした中央要望活動にも参加しました。

北陸新幹線の敦賀以西の開業は、2046年とされています。一日でも早い開業に向けて、小浜市議会では、ルート決定の2日後、12月定例会の本会議で、「北陸新幹線早期全線開業を求める意見書」を可決し、関係行政機関に送付しました。

次のステップ

北陸新幹線早期全線開業を求める意見書

- 1 敦賀以西については、与党整備新幹線建設促進プロジェクトチームにおいて決定された小浜・京都ルートを早期に整備し、北海道新幹線札幌開業(2030年)より早く東京・大阪間をフル規格で全線開業すること。
- 2 小浜市付近駅(東小浜)については、JR小浜線との乗り換えや舞鶴若狭自動車道小浜ICとのアクセスの利便性が高い場所に設置すること。

※意見書の項目のみ掲載

関係するすべての方に感謝

小浜・京都ルートの決定は、市民、行政、議会が一体となって取り組んだ努力の賜物であり、関係するすべての方に感謝の意を表したいと思います。



下中雅之議長にインタビュー

各自治体の誘致活動が活発になる中、小浜市議会主導で国土交通大臣への要望や関係する国会議員と面談を行うなど、他の自治体以上に活動してまいりました。

小浜から京都まで19分と、関西圏が非常に近くなり、整備効果は計り知れません。しかし、現段階では開業が2046年となることから、早期の開業が求められます。

ルート決定はゴールではありません。今後は、議会としての政治力を大いに駆使し、早期開業はもちろん、新幹線を見据えたまちづくりに全力で取り組んでまいります。

12月定例会の概要

平成28年第4回定例会
が11月30日から12月22日
まで、23日間の会期で行
われました。

今定例会では、各会計
の補正予算のほか、条
例、陳情の審議を行いま
した。また、「北陸新幹
線早期全線開業を求める
意見書」を賛成全員で可
決しました。
主な内容については次
のとおりです。

指定管理

◆小浜市営公園および小
浜市営体育施設の指定
管理者の指定について
賛成全員で可決

陳情

◆教員の働き方の改善に
関する陳情
賛成少数で不採択

主な条例

◆小浜市市税条例等の一
部改正について（セル
フメディケーション税
制：特定一般用医薬品
等購入費を支払った場
合の医療費控除の特例
の創設）
賛成全員で可決

◆小浜市下水道事業受益
者負担金および分担金
に関する条例の一部改
正について
賛成全員で可決

意見書

◆北陸新幹線早期全線開
業を求める意見書
賛成全員で可決

◆政府への「農業者戸別
所得補償制度」の復活
を求める陳情
賛成少数で不採択



【可決した平成28年度補正予算】

会計名	既決予算額	12月補正額	合計
一般会計	167億1,181万円	7億2,768万円	174億3,949万円
特別会計	95億6,272万円	637万円	95億6,909万円
企業会計	8億8,199万円	△72万円	8億8,127万円
計	271億5,652万円	7億3,333万円	278億8,984万円

※端数処理の関係で合計額が一致しないことがあります

寄附行為の禁止について

公職選挙法により、議員は選挙区内の人や団体に対しての
寄附行為や金品の授受をすることが禁止されています。

禁止されている例として以下のようなものがあります。

- 町内会・自治会の集会や旅行など催し物への差し入れ
- お祭りへの寄附や差し入れ
- 地域の行事や運動会への差し入れ
- 病気見舞い
- 落成式や開店祝いの花輪、葬式の花輪、供花
- 本人以外が代理で出席する場合の結婚祝いや葬式の香典
- 出産、入学、卒業、就職等の祝い金や祝い物
- お中元やお歳暮
- 年賀状、暑中見舞い等の時候のあいさつ状（答礼のための
自筆を除く）

また、政治家に寄附をしよう勧めることや、求めることも
禁じられていますので、皆様のご理解をお願いいたします。

追悼



宮崎 治宇蔵 議員（太良庄・67歳）が、去
る1月13日に逝去されました。

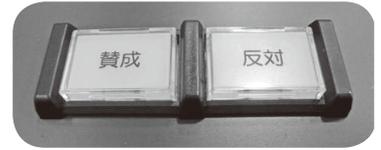
宮崎議員は、初当選以来22年間にわたり
市議会議員として市政発展のためにご尽力さ
れ、総務民生常任委員長、広報委員長などの
要職を務められました。

ここに謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

平成28年第4回定例会採決結果

賛成全員で可決、同意した議案等

項目	件名
予算	平成28年度小浜市一般会計補正予算（第4号）
	平成28年度小浜市国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）
	平成28年度小浜市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）
	平成28年度小浜市介護保険事業特別会計補正予算（第3号）
	平成28年度小浜市簡易水道事業特別会計補正予算（第2号）
	平成28年度小浜市下水道事業特別会計補正予算（第2号）
	平成28年度小浜市農業集落排水事業特別会計補正予算（第2号）
	平成28年度小浜市漁業集落環境整備事業特別会計補正予算（第2号）
	平成28年度小浜市水道事業会計補正予算（第2号）
	平成28年度小浜市一般会計補正予算（第5号）
	平成28年度小浜市介護保険事業特別会計補正予算（第4号）
条例	小浜市一般職の職員の給与に関する条例等の一部改正について
	小浜市市税条例等の一部改正について
	小浜市国民健康保険税条例の一部改正について
	小浜市農業委員会の委員等の定数を定める条例の制定について
	小浜市下水道事業受益者負担金および分担金に関する条例の一部改正について
指定管理	小浜市営公園および小浜市営体育施設の指定管理者の指定について



【採決表示ボタン】

●ホームページをご覧ください

採決結果や次回定例会の日程、本会議の動画配信（本会議終了後約2週間程度で視聴できます）などさまざまな情報を掲載しています。



小浜市議会

検索

賛否が分かれた議案等

全=賛成全員（可決・採択） 多=賛成多数（可決・採択） 否=賛成少数（否決・不採択）
 ○=賛成 ×=反対 欠=出席せず 除=除斥（規定により採決に加われない）
 棄=棄権（採決時に退席）
 ※下中雅之議員は議長のため採決には加わっておりません。

項目	件名	採決結果	熊谷	竹本	牧岡	藤田	佐久間	西本	小澤	今井	能登	下中	三木	垣本	藤田	風呂	富永	清水	池尾	宮崎	賛成	反対	
			久恵	雅之	輝雄	靖人	博	清司	長純	仲治	恵子	雅之	尚	正直	善平	繁昭	芳夫	正信	正彦	治宇蔵			
条例	小浜市特別職の職員給与および費用弁償に関する条例の一部改正について	多	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	×	16	1
	小浜市議会議員の議員報酬および費用弁償等に関する条例の一部改正について	多	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	×	16	1
陳情	教員の働き方の改善に関する陳情	否	×	×	×	×	×	×	×	×	○		×	×	×	×	○	×	×	○	3	14	
	政府への「農業者戸別所得補償制度」の復活を求める陳情	否	×	×	×	×	×	×	×	×	○		×	×	×	×	×	×	×	○	2	15	
意見書	北陸新幹線早期全線開業を求める意見書	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	棄	16	0

委員会審査

予算決算常任委員会
 （12月補正）

◆小浜市総合福祉センター運営事業 97万2000円

説明 小浜市総合福祉センター1階に地域包括支援センターを新設するため、施設の一部を改修するもの。

問 新設の地域包括支援センターは、現在のものと同等の機能があるのか。

答 介護予防事業・認知症関連の事業については現在のセンターで行い、新設の地域包括支援センターは社会福祉協議会への委託を考えている。将来は2カ所とも民間委託し、市は統括機能を担っていく。

◆保育所における業務効率化推進事業 128万8000円

説明 保育所等における事故防止等の体制強化を図る。

問 防犯の観点からのビデオカメラ設置は。

答 この事業では園内における事故防止用という観点での設置が対象。防犯対策は現在国で検討されている。

◆地域担い手づくり整備事業 1284万9000円

説明 意欲的な担い手の融資を活用した農業用機械等の導入を支援する。

問 小さな農業団体等の機械の維持・管理などへの対応策はあるのか。

答 国の補助金を見据え、県の事業も活用し、支援を行ってきたい。

◆鯖・復活プレミアム養殖拡大プロジェクト 734万8000円

説明 養殖サバ用生簀を2基増設し、平成29年度出荷可能量の拡大を図る。

問 養殖サバの将来展望、採算性を問う。

答 販路開拓、コストの低減を図り、漁業者が自ら養殖に取り組める仕組みをつくり、小浜に定着する事業にしていきたい。

◆都市再生整備計画事業（小浜地区中・西部地域）4700万円

説明 市道柳町線整備工事の進捗を図る。

問 生活の部分と観光関連の部分で棲み分けはしているのか。

答 生活環境整備と観光に貢献する事業で棲み分けし、県と協議している。

◆酒井家文庫等保存活用事業 121万5000円

説明 寄贈された西依家文書保管用の書棚等の購入。

要望 1日でも早く古文書の管理状態を整えてほしい。

総務民生常任委員会

◆議案第90号 小浜市市税条例等の一部改正について

【説明】 特定一般用医薬品等購入費を支払った場合の医療費控除の特例（セルフメディケーション税制）の創設。

【問】 対象となる一般用医薬品の範囲は。

【答】 申告対象となる人のスイッチOTC医薬品の購入費用について所得控除を導入するもの。薬局で購入した薬がすべて該当するわけではない。

【問】 従来の医療費控除とセルフメディケーション税制を同時に利用することはできるか。

【答】 同時に利用することはできない。

産業教育常任委員会

◆議案第92号 小浜市農業委員会の委員等の定数を定める条例の制定について

【説明】 農業委員会委員の選出方法が「公選制」から議員の同意を要する市町村長による「任命制」に改められたことにより、委員の定数を条例で定める。また、新設された「農地利用最適化推進委員」の定数についても条例で定める。

【意見】 年齢性別を問わず、幅広く意見が取り入れられるような農業委員会を作ってほしい。

◆議案第94号 小浜市営公園および小浜市営体育施設の指定管理者の指定について

【説明】 株式会社オーイニング・株式会社アイビックス共同企業体を指定管理者に指定するもの。

【問】 公園の砂場について地域から管理に対する要望があった場合、市は管理者に対して適切な指導を行っているのか。公園の遊具の保守点検は管理者が責任を持つのか。

【答】 衛生面を考慮し、砂場などは今後減らしていく方向で考えている。遊具については、設置責任者の市が、毎年国の方針に従い、適切に管理するよう努めている。

【自由討議※】

指定管理者への応募が1社のみであったことに対し、次のような議論がありました。
・市内の様々な団体や事業者が参入しやすい環境づくり
・指定管理者と管理施設の近隣住民との密接な意思疎通
・選定委員会の公平な委員構成

◆陳情第10号 教員の働き方の改善に関する陳情

【意見】 教員の増員や残業手当の拡充だけで解決するようなものではないと考える。

【意見】 学校と家庭の両方の問題でもある。

【意見】 文部科学省の改革を見守るべき。

【意見】 高校では、PTA会費からある程度費用が出ていく。

◆陳情第11号 政府への「農業者戸別所得補償制度」の復活を求める陳情

【意見】 戸別所得補償は、必ずしも小規模農家を助けるものにはなっていない。

【意見】 国、県などが進める強い農業、儲かる農業に逆行するものではないか。



※自由討議とは：
本会議や委員会において、議員相互間で活発かつ自由な討議を行うことにより合意形成を目指すこと。

総務民生常任委員会 管外視察報告

視察日 平成28年11月14日(月) 15日(火)

視察先 広島県尾道市、兵庫県佐用町

広島県尾道市

【研修内容】 地域包括ケアシステムについて

公立みつぎ総合病院は、退院のケアに重点を置き、訪問看護・介護を充実させるために行政機関である健康福祉センターを併設しています。また、病院の近距離に保健福祉総合施設があり、在宅生活を支えるコンパクトな地域完結型の地域包括ケアシステムなどについて学びました。ハード面での違いはありますが、今ある資源をどう生かすかが今後の小浜市の課題であると感じました。

兵庫県佐用町

【研修内容】 市民協働のまちづくりについて

佐用町は小学校区単位で地域まちづくり協議会があり、平成17年には「まちづくりセンター」の条

例、平成25年には「まちづくり基本条例」を制定した先進地です。モデル事業を進めている小浜市にとって、センター長の役割や基本条例の位置づけ、予算配分など大変参考になりました。また、協働のまちづくりと密接な関係にある自主防災組織が、実際は機能せず多くの被害を受けたことから、現在再編成している防災面などについてもお聞きしました。



京丹後市議会は議会改革の先進地として知られ、議会だよりの充実や、「市民と議会の懇談会」を定期的に開催するなど、議会活動の広報にも積極的に取り組んでおられます。分かりやすい議会だよりを作るための作成指針について学ばせていただいたほか、市民の皆さまに親しんでいただけような紙面づくりの工夫についても参考となる点が多々ありました。

「市民と議会の懇談会」(議会報告会)については、継続して行ってきた成果や課題についてお聞きしたほか、懇談会でいただいた意見をどのように生かしていくかという点について意見交換を行いました。

広報委員会 管外視察報告

視察日 平成28年11月2日(水)

視察先 京都府京丹後市

【研修内容】 「議会だより」および「市民と議会の懇談会」について



議会報告会が開催されました

平成28年10月28日(金)、11月1日(火)、11月10日(木)の3日間にかけて、全12地区の公民館で議会報告会を開催しました。

今回は「定例会報告」のほかに、初めての試みとして、「地区別テーマ」を設定し、地区ごとの課題などについてご意見をお伺いしました。また、「意見交換」においても、皆さまから多くの貴重なご意見をいただきました。

多くの方にご参加いただき、誠にありがとうございました。

○議会報告会とは？

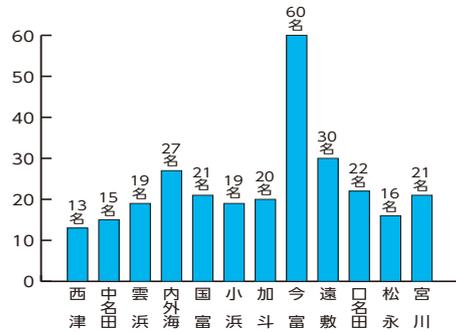
平成25年4月1日に施行した小浜市議会基本条例により、年1回以上議会報告会を開催し、議会の説明責任を果たすとともに、市民の皆様からのご意見を議会活動に反映させることになっていきます。

いただいたご意見は、議会報告会連絡会(議長、副議長、各常任委員長、広報委員長、各報告会場の班長)において整理し、政策討論会などの議論や議会の政策立案、政策提言に生かします。

また、この報告会で皆様からいただいたご意見は小浜市(行政)へも伝えております。



○今回の各会場の参加者数(283名)



○どのような意見があったの？

- ・免許を返納した高齢者のために、あいあいバスの運行回数を検討してほしい。
- ・鯖街道を中心に小浜の活性化を考えて、子どもたちの意見やアイデアを取り上げてほしい。
- ・国体と来年のプレ大会を学校の授業の一環として学生に見てもらいたい。
- ・観光のまちとして、公衆トイレの更新と新設を検討してほしい。
- ・子ども見守り隊の担い手が少なくなってきた。何か対策を考えてほしい。
- ・来年から、要支援1・2の対応はどうなるのか。
- ・火葬場について広域で取り組むと聞いているが、早く対応してほしい。
- ・公立小浜病院の医師確保にもっと力を注いでほしい。
- ・若者の働く場所を小浜市はどのように確保していくのか。具体的なプランとスケジュールを示してほしい。
- ・空き家や空き校舎が増えているが、「まちを貸す」という発想で、工房やギャラリーとして解放したらどうか。



今富公民館



中名田公民館



遠敷公民館



口名田公民館



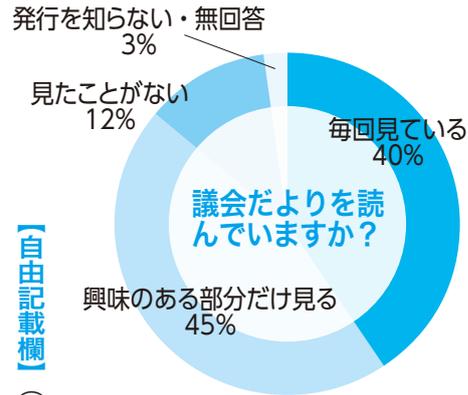
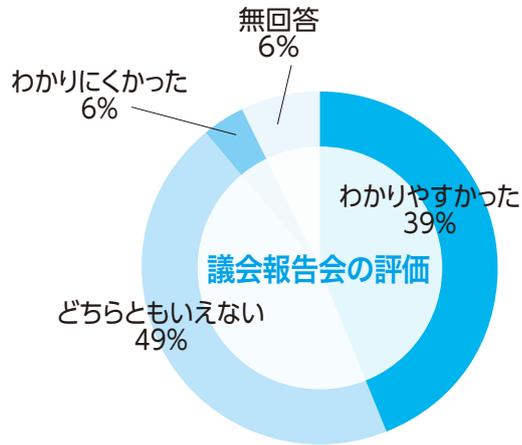
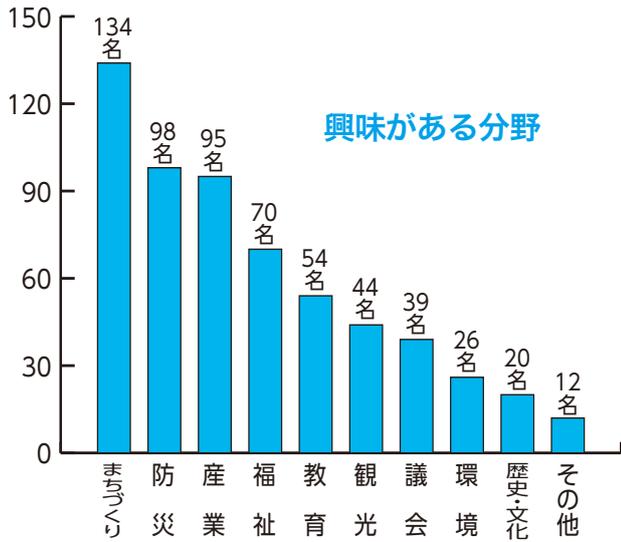
内外海公民館



加斗公民館

アンケート結果

(265名の方にご回答いただきました)



【自由記載欄】(一部抜粋)

- ・ 議会報告会の継続を望む。議員の緊張感が生まれ、市民もまた勉強する。有意義だった。議員の方は地域の問題をよく聞いて、議会一丸となって対応してほしい。
- ・ 議会報告会よりも、参加者からの意見要望に対し、議員からの即答はなくてもよいので、意見が出し合える協議会がいいと思う。
- ・ 参加者が思ったより少ないと思った。もう少し

- ・ 市議会が一致団結して、小浜市民を引っ張ってほしい。市民もしっかりと自覚を持って、小浜市発展のために市政に参加していかなくてはならないと思う。
- ・ 勉強されている方がよく質問されているのを見て、我々の勉強の必要性を感じた。
- ・ 女性の出席者が少ないので、増やす方策を考えたいといけないと思う。
- ・ 南川の立木の処理について、計画を立てて伐採して処理すべきと思う。
- ・ 初めて参加したが、身近な話題ばかりで、私にもよくわかった。
- ・ 地区別のテーマを設定してもらえてよかったが、資料がなかったのがよくわからなかった。子育てしやすい条件づくりを市の施策で行ってほしい。例えば、医療費の窓口無料化や放課後児童クラブの全校での設置など。



西津公民館



小浜公民館



国富公民館



雲浜公民館



松永公民館



宮川公民館

二 市政を問う！ 一般質問 二

平成28年第4回（12月）小浜市議会定例会

一般質問の原稿は発言議員が自ら作成しています。

ページ	氏名	質問項目
8	佐久間 博	1. 防災について 2. 「まちの駅」の運営について 3. 「食のまち小浜」について
9	西本 清司	1. 小浜市地域防災計画について 2. 市内の道路インフラについて
9	風呂 繁昭	1. 平成29年度、当初予算編成について 2. 稼ぐ、儲ける、観光施策 3. 高齢者が安心して暮らせる環境
9	牧岡 輝雄	1. 小浜西組重伝建保存地域の現状と取り組み 2. 平成29年度重要要望について
10	宮崎治宇蔵	1. 安定ヨウ素剤の事前配布について 2. 原子力広域防災訓練の検証について 3. 介護保険「総合事業」の実施内容について 4. 就学援助の入学金準備金入学前支給について
10	能登 恵子	1. 徘徊者早期発見の為にシステム導入を求める 2. 小・中学生への熱中症予防のSDについて
10	小澤 長純	1. まちの駅の課題について 2. 男女共同参画社会の実現について
11	竹本 雅之	1. 市長の公約について問う 2. 指定管理者制度について
11	熊谷 久恵	1. 重点「道の駅」について 2. 福井しあわせ元気国体の支援について 3. 外来植物について

問 防災無線の運用状況と整備効果は。
答 戸別受信機を各世帯に配布し、転入転出や世帯分離にも即時対応している。避難の際に持ち運びができ、野外拡声器も情報伝達に寄与している。
問 自主防災組織の結成率と今後の目標は。
答 行政区全体の6割。平成32年度にはすべての地域で結成できるよう努力していく。
問 まちの駅への市民の意見や要望と対応は。
答 施設の見学方法の周知を図っていく。旭座での飲食は指定管理者が管理する。野外広場の利用頻度と集客を増やしたい。旭座の利用申し込み方法を明確にしていく。
問 まちの駅運営委員会の充実が必要では。



佐久間 博
議員

鯖養殖で食のまち小浜の新たな展開を！

問 まちの駅活用企画実践委員会に意欲ある方の参加を募りたい。
答 まちの駅への市商工観光課の関与を問う。
問 情報発信の拠点に現場と連携を強めたい。
答 市長のまち歩き観光、民間活力の造成に向けて手腕を問う。
問 まちなかの賑わい創出に向け、市民参加型の協働のまちづくりを力強く進める。
問 最近の視察状況は。
答 今年は101名で、高い評価を受けている。
問 海の駅の状況は。
答 食文化館のリニューアルと海のガーデン等の整備で効果を得た。
問 鯖サミットの取り組みと継続は。
答 小浜といえば鯖のイメージを構成させて養殖サバの拡充と共に来年の開催も検討する。
問 市長は食のまち小浜をどう研くつもりか。
答 本市が飛躍するため資源は食であると再確認している。市民の健康で豊かな暮らしを創る。

一般質問



西本 清司
議員

害時対策拠点（オフサイトセンター）の防護対策や通信機器等充実に図っている。

○道路インフラ整備の状況について、国道162号大手橋・西津橋の現在の状況、また深谷・相生間の整備状況。県道中井青井間、県道岡田深谷線の整備について、また市道の現況について問う。

○市地域防災計画について、自然災害対策で3年前の当市の甚大な台風被害発生以降、国内での災害発生状況や経緯とそれらに対する対策や取組等はどうか。また原発の再稼働対策を含めた事故防護対策、避難対策で国や電力事業者、当市の取組状況等を問う。

○近年ではこれまで台風被害の影響が比較的少なかった地域への甚大な被害があり、日本各地で様々な自然災害が発生している。現在、ハード整備は膨大な時間と費用を要するため、これまで以上にソフト対策に重点を置いていた方策で取り組んでいる。原子力事故防護対策は市防災計画の改定を行うとともに、国、自治体、事業者等の災

地域の防災、道路インフラ等計画を問う

害時対策拠点（オフサイトセンター）の防護対策や通信機器等充実に図っている。

○道路インフラ整備の状況について、国道162号大手橋・西津橋の現在の状況、また深谷・相生間の整備状況。県道中井青井間、県道岡田深谷線の整備について、また市道の現況について問う。

○大手橋・西津橋の完成は平成35年度を目標にしている。県道中井青井線は整備計画はあるが沿線総意を得られておらず進展していないのが現状。県道深谷相生間は現在の工事は平成29年度末に完了しそれ以降深谷側の県道拡幅等に着手予定。県道岡田深谷間は災害時の避難効果も指標に入れられ引き続き事業化に向けた検討を進める。市道は地区から要望が多くあり限られた財源の中、要望を真摯に受け止め期待に応えていきたい。



風呂 繁昭
議員

り込んでいるが、おばま観光局としては、どのように連携して「稼ぐ、儲ける」観光施策として取り組むのか伺う。

○歳入の確保につながる予算編成方針について。市債の発行による償還額が増える事に加え、市税の大きな伸びも見込めず、厳しい財政状況が続く中、市長就任3期目の最初の当初予算編成にあたり、歳入確保につながる、小浜市の経済に一筋の光が差すようなものをお願いしたい。市長の思い、特に力を入れていくものを伺う。

○私は過去8年間の集大成の年であると位置づけ「食のまちづくりの原点に戻る」の視点から鯖の養殖等により水産業を盛り上げ、小浜に来て食べられる刺身や、浜焼き鯖をブランドとして築き上げていく。

○鯖復活プロジェクトとして鯖を養殖して売

過去8年間の集大成、3期目の思いは

○小浜の水産物の情報発信を図る「若狭もん」やプロジェクトを編集・発行した。「小浜といえば鯖」というイメージを活かし、濱の四季や道の駅の鯖を使ったメニューを充実させて、好評であった。観光客を呼び込み、「稼ぐ観光」で小浜市全体の活性化に貢献していく。

○高齢者が安心して暮らせる環境」特に予防医療の現状と取り組みについて伺う。

○検診を欠かさず受診している等、健康づくり活動を継続している市民であれば、何らかの特典が得られるような、効果的な仕組みづくりに取り組んでいく。

○追加史跡、若狭武田氏館跡（旧小浜小学校跡）の活用は。



牧岡 輝雄
議員

件数などを加えた資料作成としてはどうか。

○重伝建地区の沿革・概要・特性・改修物件の内容・修理実績などを追加した資料を作成していきたい。

○小浜西組地区内の高齢化や空き家対策について伺う。

○市では市内に「小浜市空き家等対策検討委員会」を設置し、来年度の計画策定、条例制定に向け取り組んでいる。小浜西組地区の空き家は現在50軒確認されており、小浜西組町並み協議会のホームページでも空き家情報発信をしている。

○地元住民代表など7名による「史跡後瀬山跡保存活用計画策定委員会」を設置した。来年度から、山城部分に守護館跡を加えた一体的な保存活用計画を策定する。

○重伝建選定8年目を迎えるが、改修実施

小浜西組重伝建保存とH29重要要望

○北陸新幹線敦賀駅開業に向け、小浜線の利便性向上への取り組みは。

○観光を中心に敦賀駅からの利用客増加が予想され、快速電車の運行、小浜駅トイレの改修やホームのエレベーター設置をJR西日本へ強く要望している。

○舞鶴若狭自動車道の4車線化の要望を。

○福井県知事が会長の「敦賀舞鶴間道路整備促進期成同盟会」で、強く要望している。

○治水対策について河川整備はどうか。

○国、県に強く要望している。本年度も西津橋上流付近を掘削中で、更に補正予算で進捗を図っていたらだいて浸透防止対策なども加速させる。



宮崎治宇蔵 議員

○ 安定ヨウ素剤の事前配布について。

○ 事前配布の利点については認識をしている。全域がPAZのひたちなか市は、独自の判断で今年8月から全市民を対象にした事前配布を実施している。

○ 原子力広域防災訓練の検証について。

○ より実効性のある訓練を通じて、市民の安全が確保されるよう県、国に対して、現場の意見を上げていきたい。

○ 平成29年4月から始まる「総合事業」の実施内容について。

○ 「現行相当サービス」を残しながら現行の基準を緩和した「緩和型」、ボランティアによる「住民主体型」、保健・医療の専門職が相談・指導を行う「短

期集中型」のサービスを設定し、利用していただく。

○ 地域包括ケアシステムの構築について。

○ 2025年には団塊の世代が後期高齢者となり、要介護認定者数の大幅な増加が予想されるため、今後、行政、医療、介護関係者、地域住民等が連携して取り組む地域包括ケアシステムの充実を図っていく。



(出所)厚生労働省「地域包括ケアシステム」

○ 就学援助の入学準備金入学前支給について。

○ 対象児童・生徒数232人。本市としても、援助を必要とする時期に速やかに支給できるように、今後調査を進めたい。

地域包括ケアシステムの構築が急がれる



能登 恵子 議員

○ 徘徊者早期発見のための実効性ある取り組みを求める。認知症の方が2015年65歳以上で462万人。軽度認知障害MCIも想定400万人。団塊の世代が75歳以上になるころには1.5倍になる。徘徊者の中で介護認定無しの人が一番多く26.2%。例として、列車事故で亡くなった人が加害行為として裁判に訴えられた。また被害者にもなつてもらいたくない。そこでいち早く保護するために、今ある見守りネットワークとIT機器を使った「早期発見模擬訓練」をしてはどうか。

○ 徘徊者早期発見の体制を更に充実させる

○ 徘徊者早期発見の体制を更に充実させる

徘徊者早期発見のための模擬訓練を。

ため、徘徊模擬訓練の実現に向けて前向きに検討していきたい。

○ 小・中学校生へ熱中症予防のスポーツドリンクについて。毎年6〜9月の間に、「お茶の他にスポーツドリンクを持たせていただいても結構です」というものに対して、水分を吸収する最適糖分は5%以下だが、スポーツドリンクは人工甘味料が6%以上、薄めたとしても(それを検査することはない)子どもの摂取量をオーバー。肥満や糖尿病、歯周病などの心配もあるが、食のまちとしてそれで良いのか。他に対策は。

○ 熱中症対策として最も重要なのは水分補給であり、大量に汗をかいた時はスポーツドリンクも有効で、成分や特徴を知り、「選食力」を養い、熱中症予防に最適なものを選ぶことが望ましい。今後とも啓発していく。

○ 熱中症対策として最も重要なのは水分補給であり、大量に汗をかいた時はスポーツドリンクも有効で、成分や特徴を知り、「選食力」を養い、熱中症予防に最適なものを選ぶことが望ましい。今後とも啓発していく。



小澤 長純 議員

○ まちの駅の今年度の収支見込と次年度以降の指定管理料の考え方を問う。

○ 自主財源によるイベントにより、支出が収入を上回っている状況である。次年度の指定管理料は、今年度と同額の1,500万円を予定している。

○ 平日の広場は閑散としているが、屋外広場の活用策は。

○ 屋外広場は「まちなかの心地よい居場所」としてイベントや祭りなどで使え、市民や観光客が交流する場と位置付けている。コンセプトにあった活用を進めていきたい。

○ 北陸新幹線敦賀延伸を見据え、まちの駅等への誘客、小浜駅の周辺整備等どのように取り組むのか。

男女共同参画社会の実現を推進しよう！

○ これからの6年間の取り組みは極めて重要である。3駅周遊、教育旅行誘致、インバウンド対策等効果的な取り組みを具現化するための方策を考え、オール小浜による観光振興を図っていく。

○ 小浜市職員の男女別超過勤務の状況について問う。

○ 4月から11月までの月平均時間は、男性職員18時間、女性職員11時間である。月30時間を超える職員は、11月は男性職員22名、女性職員7名である。

○ 男女共同参画都市宣言をしていない理由と今後の予定は。

○ 小浜市では、いち早く条例を制定し、その実現に向けて取り組んでいる。今後とも、市民・事業者が「一丸」となり、男女共同参画社会の実現に向けて積極的に取り組んでいきたい。

○ 小浜市では、いち早く条例を制定し、その実現に向けて取り組んでいる。今後とも、市民・事業者が「一丸」となり、男女共同参画社会の実現に向けて積極的に取り組んでいきたい。

一般質問



竹本 雅之
議員

問 指定管理者制度導入前と導入後での経費の削減額は。
答 指定管理したすべての施設の合計で年間約2,400万円。
問 どのような市民サービスの向上につながっているのか。
答 濱の湯では物販コーナーの拡大や変わり風呂の充実、市営駐車場では休日でも駐車場サービス券が購入可能となる等である。
問 個人情報情報の取扱いについては。
答 事務処理指針において、指定管理者に個人情報情報の適正な取扱いを義務付けている。
問 1団体しか応募がない場合は必ずその事業者を選定するのか。
答 1団体しか応募がない場合でも、「合格基準点」に達しない場合は選定しない。
問 業務が適切に実施されているか等、検証方法の充実を図るべきだと考えるが。

指定管理者制度の現状・検証・今後

毎年、市民サービスの水準が維持されているか等の確認および検証のため、モニタリングを行っている。
問 事業報告書を議会に提出できないか。
答 積極的に公開している自治体の事例や他市の状況を勘案し、報告方法・内容等どのような形で報告できるか検討したい。
問 今日までの評価と今後の進め方は。
答 利用者アンケートの結果によると、サービスの向上が図られていると考える。
 また、モニタリングの結果等から、コスト削減も図られている。今後、本制度導入により市民サービス向上やコスト削減効果が発揮できる場合は、積極的に導入したい。



熊谷 久恵
議員

問 重点「道の駅」の選定理由とは。
答 国が地方創生の優れた取り組みを応援。小浜ICに隣接する交通結節機能を向上し、観光の入口としてバスターミナル機能拡張とパークアンドライド機能の充実を図ることが活性化の核になると評価。
問 バスターミナル計画と活用について。
答 四季菜館南側に本年は詳細設計、H29、31年度に敷地造成、舗装、付帯施設を予定。周遊の歩道、バス停4カ所、中央部にバス利用者駐車場を設け、高速バス、ラウンドバス、秘仏巡り等、新たな路線バス等を取り入れることで結節点機能の充実につながるかと考える。
問 二中起終点のあいあいバス連結について。

市民生活向上の為の道の駅活用計画は

問 学生、高齢者の交通手段であり路線延長も考えるが、ダイヤの調整等、課題もあり今後検討していきたい。
答 高齢者の免許返納には路線の整備が必要。観光客や豊かな市民生活の為に利用者ニーズに合う計画を求む。
問 国体競技の普及、PR、もてなしを問う。
答 開催競技に触れる機会を展開。HP開設、PRボランティア等賛同者の輪を広げ、ふるまい料理や学校観戦など先催催の取組みを参考に市民総参加のもてなしを考える。
問 環境整備について。
答 会場や道路、周辺の除草やごみ撤去など、市内一斉美化運動を呼び掛けたい。
問 セイタカアワダチソウの効果的な駆除は。
答 年2回の草刈りで成育が抑制。これが現実的な駆除方法と考え、土地の適正な維持管理を市民・事業者・管理者とも連携し促したい。

議会を傍聴しませんか？

住所と氏名を書くだけで傍聴することができます。
 小浜市役所5階の議会事務局までお越しください。

— 3月定例会の予定 —

2月20日 (月)	本会議
2月21日 (火)	本会議
3月 9日 (木)	一般質問
3月10日 (金)	一般質問
3月21日 (火)	本会議

今月の表紙

12月20日、北陸新幹線小浜・京都ルートが与党整備新幹線建設推進プロジェクトチームにより決定されました。市庁舎1階ロビーでは決定を祝うイベントが盛大に行われ、関係者が喜びを分かち合いました。

御食国若狭小浜伝統野菜「谷田部ねぎ」が 地理的表示に登録されて思うこと



谷田部ねぎ生産組合 組合長 池田 良光

平成 28 年 9 月 7 日、若狭小浜の伝統野菜「谷田部ねぎ」が、農林水産省が進める農産物の地理的表示「G I」に登録され、農林水産大臣登録第 15 号として地理的表示の保護を受けました。これもひとえに関係各位のご協力のたまものと厚く感謝申し上げます。

福井県嶺南振興局の助言から始まり、申請の準備を整えたのが平成 27 年 5 月のことでした。しかしながら、全国ではすでに 11 件が登録されており、有名などころでは但馬牛、夕張メロンなど、大きな産地のものばかりでした。

このような中で、小さな産地である小浜市の「谷田部ねぎ」が本当に登録できるのか不安でありましたし、昔からの記録についても、伝統野菜の宿命から、言い伝えや伝承によるところが多く、紙ベースでの記録は本当に少ないものでした。

特に栽培期間については証明が非常に難しかったのですが、農林水産省の担当者からも助言を受け、「口名田郷土誌」の記述から説明することができました。

このように、栽培期間や栽培方法、栽培技術、販売量、販売先、風土や気候など多くの項目について、さらには何のために地理的表示がほしいのかという点についても説明するため、1 年 4 か月をかけて提出した書類は 240 ページにも上りました。

ようやく登録にこぎつけた地理的表示「G I」の登録ですが、もとより他国へ輸出する予定もなく、今後どのように活用していくかがポイントであります。

谷田部ねぎは産地に限られ、農家も高齢化していますが、これを機会に若い耕作者や新規就農者が現れて、谷田部ねぎが多く作られてほしいと思っています。

私も微力ながら、これから先の「谷田部ねぎ生産組合」の発展と農家組合員の健康に関わっていきたくと考えています。



谷田部ねぎ



組合員のみなさん

あなたの 1 枚で表紙を飾ってみませんか?? 小浜市議会だよりの表紙写真 募集中!!

詳しい要項や過去の議会だより表紙は小浜市議会ホームページをご覧ください。ご応募をお待ちしています。

【応募規定】

1. 小浜市内で撮影された未発表のもの
 2. 画像データは 1 作品 2～3MB 程度の JPEG データ
- ※メール受信の都合上、画像のデータサイズは 2～3MB 程度でお願いします。

【応募方法】

- ・応募は、データの持参またはメールでお願いします。

メールアドレス: gikai@city.obama.fukui.jp

- ・作品名には①題名、②撮影場所、③撮影日時、④住所、⑤氏名、⑥電話番号を明記してください。

【その他】

- ・撮影した人物や対象物が個人の所有物である場合には、必ずご本人または所有者の承諾を得てください。(肖像権に関する責任はすべて応募者に属します。)
- ・提出された写真は必要に応じてトリミング等を行うことをご了承ください。
- ・応募いただいた画像は広報委員会で選考の上、掲載させていただきます。紙面の都合等で掲載できない場合がございますがご了承ください。

編集後記

昨年末は「北陸新幹線小浜・京都ルート」が決定し、小浜市全体が大いに盛り上がりました。今後は早期全線開業と、新幹線を見据えたまちづくりによる小浜市の益々の発展に向けて、議員一丸となって取り組んでまいります。

広報委員会では、親しみやすい議会だよりを目指して取り組んでおります。市民の皆さまからの幅広いご意見をお待ちしております。

(広報委員 藤田靖人)